

平和についての 700 語

(原文は英語)

ヤン・コロレフ (17 歳)

ベラルーシ<ポーランド在住>

ワルシャワ・メアリー・キューリー高校

人々は皆、平和を望んでいます。しかし、これまで戦争は絶えず続き、誰も平和な未来を信じなくなっていました。この状況は果たして変えられるでしょうか。一変えられます。私たちの世代が変われば、世界は変わります。人々が皆、変わりさえすれば。弟やクラスメートたちが変わりさえすれば…。これが、私が最初に考えたことでした。

ロシアによるウクライナ侵攻が始まった時、私は祖父に、弟や私は戦争を止めるために何ができるだろうかと問いました。祖父は答えました。「弟の部屋に入る前に、毎回必ず考えなさい。自分は弟を喜ばせに来たのか、それとも傷つけるために来たのかを。**お互いのテリトリーを尊重し、友好的に振る舞いなさい**。何かをする時には、より良い方法でできるかどうかを。両親や祖父母に、人生の中での良かったことやポジティブなことを話してもらうように頼んでごらんなさい。彼らが行ってきた善い行いから学びなさい。この遊びを、弟とやってごらんなさい」と。

この遊びを通して私たちが学んだこと

弟はレスリングを始めたがっていました。レスリングをやるのは良いことだと私たちは考えました。でも、もっと良いものがあるのではないかと。もちろん、もっと良いレスリングはあります。攻撃的ではなく、防御的な。他者を攻撃して打ち負かしたいのか、それとも自分を守り友人たちを守りたいのか。そこで私たちは、正しい選択をしました。弟は柔道を選んだのです。私たちは**攻撃的にならないこと**の大切さを学びました。

2022 年にベラルーシの反政府デモが始まった時、知人の一人が「平和的なデモでは何も変えられない」と話していました。私たちは例の遊びをすることにしました。グーグルで「平和的な革命」と検索し、ポーランドやドイツ民主共和国などヨーロッパの国々で成功した平和的変革の情報を見つけました。万歳！ 非暴力デモこそ正しかったのです。私たちは**忍耐強く、平和的であること**の大切さを学びました。

正教会の司祭の多くは、他の宗教の信者は天国へ行くことはないと言います。それは私たちにとっての難題でした。私たちには正教徒でない友人がたくさんいます。祖父は私たちに、ロシアによるウク

ライナ侵攻での人々の行動を比べてみるよう勧めました。「司祭の言葉を鵜呑みにしてはならない」と彼は言いました。全ての宗教に、神、人々、平和を愛する信者がたくさんいることを知りました。私たちは**寛容である**ことの大切さを学びました。

祖父は若い頃、歌謡バンドを組んで旅をし、病気のチェルノブイリの子どもたちのための資金集めをしていました。初めてのコンサートは、同性愛者たちのために、ドイツの別荘地で行いました。コンサート終了後、祖父は彼らのうちの何人かと話をしました。その一人が、「自分は多くの友人に受け入れられているけれど、自分は大多数の男性とは違っているので、幸せではない」と話しました。私たちは、**見知らぬ人や自分と異なる人を理解し、彼らに対して慈悲の心を持つ**ことの大切さを学びました。

私は学校である男子にいじめられていました。私の祖父は、その男子の両親と友好的に話をし、いじめを止めてくれました。その後、弟が同じ経験をしました。弟は柔道が得意だったので、私は弟に、いじめっ子と戦って懲らしめるようアドバイスしました。しかし弟は、私が同じ状況にあった時、どのように祖父が解決したかを私に思い出させてくれました。私は弟から、**争いを平和的に解決する**ことの大切さを学びました。

私の母は子どもの頃にドイツに住んでいて、たくさんのドイツ人と出会いました。彼らは友好的で、チェルノブイリの子どもたちへの支援活動を行っていました。しかし、母はベラルーシの幼稚園で、ドイツ人に関する悪いプロパガンダを耳にしました。彼女は「違うわ、ドイツ人は良い人たちよ。人を殺したりしないし、助けてくれるのよ」と抗議しました。私たちは**許す**ことの大切さを学びました。

私たちは祖父に、彼が平和のためにしたことについて話してくれるように頼みました。祖父は将校でした。祖父の任務は、敵の兵士たちに降伏を呼びかけることでした。1982年、軍はアフガニスタンでの戦争に祖父を送り込もうとしていました。祖父はそれを拒否し、軍を懲戒解雇されました。出世できたはずのところが断ったのです。私たちは、**不当な戦争に加担しない**ことの大切さを学びました。

私たちは今も、祖父から教わった遊びを続けています。この遊びを通して学んだことは、他人ではなく**自分自身**がより良く変わらなければ、平和は生まれないということです。弟や私が、より平和的、寛容で、他者を尊重し親切になれるよう競い合うことを、将来の子どもや孫たちに教えなければ、平和は生まれないということです。恐らく私たちが生きる世界はまだ平和にならないかも知れませんが、私たちの子どもや孫たちはきっと平和な世界に生きられるはずです。皆さんも、この遊びに是非参加してください。将来の平和のために、良い行いや平和的な行いを競い合い、実践してください。世界中でこの遊びを一緒にやって生きていきましょう！

(注) タイトルの 700 語は、本作文コンテストの外国語での制限語数